2025 年 12 月4日

株式会社 アール･エス･シー
JAPAN RELIANCE SERVICE CORPORATION

ソフトバンクロボティクス株式会社との資本業務提携に関するFAQ

今回のソフトバンクロボティクス株式会社との資本業務提携に関しまして、お問い合わせが多数ございましたので以下のとおりFAQを掲載いたします。

Q1: 本件に至った背景や経緯は？

A: 日本のビルメンテナンス業界、その中でも警備業界は現在慢性的な人手不足と高齢化問題に直面しており、業務効率化による省人化と品質向上が急務の課題となっています。当社はこれまでホスピタリティを重視した警備サービスをお客様に提供してまいりましたが、今後はAIやロボット技術を積極的に導入・活用することで、こうした課題をスピーディーに解決する必要があると考えました。ソフトバンクグループの1社であるソフトバンクロボティクスはAI・ロボティクス分野で高い技術力と豊富な経験を有しており、両社はその強みを融合し、戦略的なパートナーシップ関係を構築することで業界の課題を解決できると判断し、今回の提携に至りました。

Q2: ソフトバンクロボティクスによる出資比率がさらに引き上がる計画はありますか？

A: 本件は戦略的パートナー関係の構築を目的とするステップのひとつであり、現時点ではAI警備ソリューションの導入事例を増やし、期待する効果を実現させることに注力しております。今後の展開につきまして現時点で決まっている事実はございません。

Q3: 導入の具体的なスキームやスケジュールは？

A: ソフトバンクロボティクスが提供するAI警備ソリューション「SBX AI警備」や清掃ロボット「Whiz」をアール・エス・シーが警備や清掃業務を受託する複合施設や商業施設等に導入することで、施設内の警備業務の効率化や省人化を提案、実現してまいります。具体的なスケジュールにつきましては、お客様への説明を行った後、順次来年度以降の導入を目指しております。

Q4: 他の業務提携先との今後の関係は？

A: 今回の資本業務提携に伴う変更はなく、引き続き連携を深めてまいります。

Q5: この提携によるアール・エス・シーの収益インパクトは？

A: AI警備ソリューションや清掃ロボットの導入により、既存顧客への付加価値提案が強化されるとともに、新規案件獲得や既存物件での省人化等に寄与する予定です。なお、具体的な定量目標等については、現在策定中の中期経営計画にて発表する予定です。

Q6: 共同出資会社を設立する理由やその役割は何ですか？

A: 複数の監視カメラを一元的に制御・監視し、同一エリアにある施設・物件を管理することを目的に遠隔AI警備ソリューションを導入するための会社を設立する予定です。また、現管理物件から派生するイベント等の臨時警備でもAI警備ソリューションを導入することでお客様満足度向上に努めてまいります。

尚、導入の時期や規模等については決定次第お知らせいたします。

以上

【本件に関するお問い合わせ】
会社名　株式会社アール・エス・シー
担　当　経営企画部　相馬 康生
電　話　03-5952-7211(代表)